

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

2003年度 事業計画書
収支予算書

期間：2003年7月1日～2004年6月30日

2003年9月6日

2003年度 事業計画書

・センターの運営に関する事項 2

1. 通常総会の開催 ————— 2
2. 理事会の開催 ————— 2
3. 評議員会の開催 ————— 2
4. 会員について ————— 2
5. 事務局について ————— 3
6. 職員・ボランティアスタッフについて — 3

・センターの事業に関する事項 4

1. 政策提言（アドボカシー）活動 ——— 4
 - （1）NPO税・法人制度改正関連
 - （2）地域のNPO性策に対する提言
 - （3）個別分野における政策提言サポート
 - （4）その他
2. マネジメントサポート ————— 4

（相談・講座・NPO向け講師派遣）

 - （1）せんだいCARE Sの実施
 - （2）VOICE OF NPO PROJECTの企画・実施
 - （3）コミュニティ・ビジネス開発講座の
企画・実施
 - （4）コミュニティ・ビジネス実践研究会
 - （5）宮城県内5地域の民間NPO支援センター
巡回研修・交流事業
 - （6）NPO実践講座の企画・実施
 - （7）その他、講師派遣
 - （8）NPO経営相談
3. ネットワーキングサポート ——— 7
 - （1）センドードサロンの開催
 - （2）PONPO-NETの開催
 - （3）企業とNPOの交流・連携のための

巡回フォーラムの実施

- （4）各地NPO推進機関との連携
4. 情報サポート————— 9

- （1）NPO情報ライブラリー
- （2）情報の収集
- （3）情報の発信
- （4）書籍販売「みんなん堂」
- （5）各種取材への協力

5. 調査・研究・コンサルティング事業 — 9

（行政・企業向け講師派遣・相談）

- （1）NPOの政策提言力の開発と、NPOの
参画を保障する自治体の政策形成システム
の提案
- （2）人財サポートプログラムの実施
- （3）地域貢献活動相談センター
- （4）みやぎ地球市民すくすく計画への講師派遣
- （5）まち美化に関する市民活動推進のための
支援事業
- （6）平成15年度百年の杜づくりフォーラム
- （7）起業支援・支援事業（アクティブシニア
・ビジネス部門）企画・運営
- （8）石巻地域新市まちづくり計画検討委員会
運営支援業務
- （9）その他自治体職員向け研修・講師派遣

6. 特別事業 ————— 12
 - （1）サポート資源提供システムの運用
 - （2）仙台市民活動サポートセンターの
管理・運営

2003年度 収支予算書

こちらのページをご覧ください。

http://www.minmin.org/Whats_se_mi/yosankessan.htm

により仙台というまちを相互のセクターが同じ市民という立場でより住みやすく「CARE（世話）」するというものである。

企画概要：NPOの最も重要な資源である「人」に焦点を当て、当センターでは2002年度にNPO・市民活動団体と企業を結ぶ「NPOへの人財サポートシステムの開発」と、NPO・市民活動団体と市民を結ぶ「VOICE OF NPO PROJECT」を行った。この2つの事業で蓄積したノウハウを基に、今回は特に企業市民に的を絞り「せんだいCARES」を行う。「せんだいCARES」では、企業人がNPO・市民活動団体に参加する機会を創出するとともに、NPOに対する社会的認知を高めることを11月の1ヶ月間を使って効果的に行う。

(内容)

1. キャンペーンツールの製作
2. ボランティアメニューパンフレットの製作
3. キャンペーンの実施
4. アンケートの実施

- 目 標：1. 分野を超えた一大キャンペーンの実施
NPO・市民活動団体20団体と、企業10社のキャンペーン参加
2. 企業市民のNPO体験を通じた社会参加の機会提供
 3. NPOへの人材の供給
 4. セクター（企業・NPO・行政・市民）を超えたパートナーシップの構築

(2) VOICE OF NPO PROJECT 2003の企画・実施

「NPOの広報戦略をサポートする情報発信プログラムと
広報・編集ボランティア育成インター・シップシステムの開発」

企画のコンセプト

： 日本のNPOは、阪神大震災以後、そしてNPO法制定もあってようやくその社会的役割が認知され、注目される存在になってきたにもかかわらず多くのNPOから、活動資金が足りない、寄付が集まらない、会員が増えない、という声をよく耳にする。

その中で重要な課題として浮かび上がってきたのは、NPOのマネジメントの不在、その担い手不足によるもので、特に組織における広報・情報発信において、担い手不足が著しいということである。そこで、昨年は本事業を通じて、NPOの広報力を上げるとともに、その新たな担い手の養成を実施したその成果は、大きな反響を得ることができた。

本年は、さらにこの事業を発展充実させるため、昨年実施した市民向け

の講座の時間帯を日中午後から夜に移動して、企業人や行政職員、学生などを対象として、新たな広報の担い手となる市民の育成をめざす。

また、講座の内容もより実働的なプログラムを組み入れ、講座回数を増やしながら、NPOにも受講による成果を実感できるものを提供する。

なお、同時に「せんだいCARES」や「サポート資源提供システム」に関わる事業との連携を図りながら、セクター間の人材交流を推進するものである。

- 企画概要：1) NPO向けプログラム
2) 市民向けプログラム
3) NPOへの編集ボランティアインターンシッププログラムの実施
4) NPO関係者、プロのクリエイターなどの専門家を審査員に迎え、公開コンペを開催し、選考された5団体に対して、印刷物をNPOに提供する。
5) 広報・情報発信マネジメントプログラム講座テキストの制作
6) 昨年の市民受講生によるNPO広報サポートチーム [TENPOTE]
7) 2003年版『NPO広報ファクトリー』改訂版の制作
- 目 標：1) NPO向け広報・情報発信マネジメント研修プログラムの開発と実施
参加者目標 20団体
2) 市民向け編集ボランティア養成講座の実施 参加者目標 20名
3) NPOへの広報・情報発信ボランティア・インターンシップの実施
参加NPO 10団体 参加ボランティア 20名
4) 参加NPO5団体の活動案内パンフレットと会員募集チラシの制作
参加NPO 5団体 参加ボランティア 10名
5) 編集・情報発信ボランティアによる継続的な活動へ

(3) コミュニティ・ビジネス開発講座の企画・実施

主 催：(財) 仙台市産業振興事業団

企画・実施：当センター

* 昨年に引き続きの実施が今年度はより実践的な内容に衣替えして実施。

(4) コミュニティ・ビジネス実践研究会

月1回ペースでコミュニティ・ビジネスについての研究会を開催

(5) 宮城県内5地域の民間NPO支援センター巡回研修・交流事業

主 催：みやぎNPO支援センターネットワーク

参加団体：(特活) 気仙沼まちづくりセンター、(特活) パートナリシップ古川

(特活)いしのみきNPOセンター、白石市民活動フォーラム

(特活)せんだい・みやぎNPOセンター

助 成:(社福)宮城県共同募金会

目 的:宮城県内には、民間によるNPO支援センター(支援組織)が5つ存在する。

これらの組織は、2001年度より、「みやぎNPO支援センターネットワーク」を結成し、相互に交流を深めながら、サポート能力向上とサービスメニューの開発を行い、支援力UPと地域のボランティア団体、市民活動団体とのネットワーク形成を図ってきた。3年目にあたる2003年度には、引き続き5つの支援センターが協力して企画の開発・運営を行いながら、開催地を古川・石巻・仙台の3ヶ所に絞った巡回講座を実施する。

また、上記事業とは別途、NPO支援施設職員を対象にしたスキルアップ講座を、自主事業として展開する。

対 象:マネジメント向上に関心を持つ宮城県内のNPO関係者

NPOに関心のある行政職員、支援センター職員

開 催 地:古川市、石巻市、仙台市

企 画:NPOマネジメントの基礎事項についての講座開催

テ ー マ:資金調達、会員獲得、人材育成など。地域のNPO関係者から希望の多い項目を中心とした講座を開催する。

仙台講座については、東京からゲストを招き、主にNPO支援センターの基本的なマネジメント要素を学ぶ機会とする。

内 容:【巡回講座】

- (1)各地域で活躍しているNPO5団体による事例発表・報告
- (2)県内他地域で活躍しているNPOから招いたゲストによる講演
- (3)上記発表・講演のまとめ・分析

【自主事業】

- (1)仙台市市民活動サポートセンター、古川NPO支援センター、石巻市NPO支援オフィス担当職員の人材交流。
- (2)上記3センター間によるNPO支援スキルの交換・研修プログラムの実施。

開催日時:(古川講座)2003年10月5日(日)

(石巻講座)2003年11月8日(土)

(仙台講座)2004年2月1日(日)

*自主事業については実施時期未定。

目 標：企業人材の社会参加促進、定年後のソフトランディングなどに対する企業側のニーズ調査を行い、課題の抽出を行う。

(3) 地域貢献活動相談センター

常時、市民・企業・団体等からの相談に対応する。

(4) みやぎ地球市民すくすく計画 2002 青年リーダーすくすくプログラム(市民プロデューサー養成講座)への講師派遣

主 催：宮城県(環境生活部青少年課人材育成班)

(5) まち美化に関する市民活動推進のための支援事業

受託先：仙台市(環境局廃棄物管理課)

目 的：ごみの散乱のない快適なまちづくりを市民、事業者、行政の協働により効果的に進めるため、まち美化に関する市民活動を活性化し、活動相互の連携を図るための支援事業を実施する。

内 容：1) 全市一斉「ポイ捨てごみ」調査・清掃キャンペーンの実施

* 企画・コーディネート

2) アレマ隊活動オープン会場の実施

* 企画・コーディネート

3) アレマ会議の実施

* 企画・準備・コーディネート

4) アレマ隊員養成講座の実施

* 企画・準備・コーディネート

5) まち美化タウン・ミーティングの運営

* 企画・コーディネート

6) 仙台まち美化ネットワーク通信(アレマ新聞)の発行

* 企画・取材・原稿作成(印刷は含まない)

(6) 平成 15 年度百年の杜づくりフォーラム

受託先：仙台市(建設局百年の杜推進部)

目 的：百年の杜づくりフォーラムは、平成 14 年度「各区フォーラム」として 5 区それぞれ 1 回ずつ開催し、参加者 179 名による熱心な討論の結果、さまざまな意見が寄せられた。平成 15 年度はこれを踏まえて、「意見を出し合う場」から「自分で動き出してみる場」「市民活動の仲間を育てる場」への発展を目指し、市民協働による百年の杜づくりを促進するものである。行政による主導・誘導ではなく、市民の意見を引き出し、市民が自ら動く、市民主体のフォーラム運営

を基本とする。さらに、このフォーラムが終了した後も、将来的に市民活動・市民組織が続くことを視野に入れて支援を行うこととする。

内 容：フォーラムの運営管理

- テーマ (1)仙台の「残したい緑」を調べよう
(2)地域に特色のある公園をつくろう
(3)緑のボランティア活動をしよう
(4)子どもたちに緑の体験をさせよう

フォーラム運営会議の実施

(7) 起業家育成・支援事業(アクティブシニア・ビジネス部門) 企画・運営

受託先：宮城県

目 的：中高年によるコミュニティビジネス立ち上げの誘導・促進を図ることにより、中高年者の持つ経験・技術の社会への還元及び社会参加を促進する。また、あわせて中高年者が地域資源を活用し、起業することにより、地域の活性化につながる。

内 容：1) 事業実施に係る各種アドバイザー業務

- ・申請書の構成・記入項目
- ・事業認定方法(審査方法、審査基準等の認定プロセス策定)
- ・事業周知に関する広報

2) 募集告知

3) 講習会開催

4) 相談会の開催

5) 平成14年度応募者に対する起業状況調査の実施

6) その他委託業務全般に関するコンサルティング業務

7) 業務実績報告書の作成

(8) 石巻地域新市まちづくり計画検討委員会運営支援業務

受託先：石巻地域合併協議会

目 的：石巻地域1市6町の合併による新市の発展的な建設に向け、1市6町の速やかで円滑な融合・一本化を促進し、地域の持続的発展と住民福祉の向上を目指した新市建設計画(まちづくり計画)を策定するにあたり、新市の将来像やまちづくりの方針を地域住民とともに検討し、地域の意見を新市建設計画(新市まちづくり計画)に反映させていくために組織する新市まちづくり計画検討委員会を、円滑で効果的な運営をしていくため実施するものである。

内 容：新市まちづくり経過検討委員会の運営・企画に関する業務
検討委員会開催のための事務局会議に関する業務

- (9) その他、自治体職員向け研修・講師派遣
自治体職員向け研修

6 . 特別事業

- (1) サポート資源提供システムの運用

- (2) 仙台市市民活動サポートセンターの管理・運営

受 託 先：仙台市（市民局地域振興課）

業務内容：施設管理業務

情報収集提供業務

相談業務

連絡調査業務

人材育成業務

サポートセンターまつり事業

市民活動起業（コミュニティビジネス）講座事業

資料の購入

その他

平成 15 年度の取り組み目標（当センターで設定）

「4 年間の蓄積をふまえ、具体的で即効性のあるサポートメニューを提供する。」

A：ターゲット別、ニーズ別のサービスの成功事例を可視化する。

B：既存データを活用し、支援メニューを開発する。

具体的な取り組み

団体定点観測：団体の成長プロセスを分析する。

サポセン物語：サポセン利用団体や利用者の活動にまつわる成功事例やエピソードを綴り、ぱれっと及びホームページ等、適切な媒体を活用して発信する。

相談内容の分析：顧客を特定し、類型化して深める。